



もりかつレポート

2025年8月16日(土) | 天気：晴れ
参加者：17名



マツカレハの幼虫。
見つけれられるかな？

■ 森の手入れの記録

植生管理（主園路沿い）

様々な植物が生育する多様性に富んだ草原を目指して、セイタカアワダチソウやメリケンカルカヤなど、在来植物の生育を妨げる外来植物の抜き取りやササの刈り取りを実施。ササユリやオケラなどが生育している斜面では、ササと一緒に刈ってしまわないよう、丁寧に見分けながら、慎重に作業を進めました。



植物を見分けるのに苦戦



歩きながら昆虫観察
エダナナフシなどを発見

鳴く虫の解説板設置

エントランスの広場に、キーナの森で見られる鳴く虫の解説板を設置。夏の終わりから秋にかけて様々な声を聞かせてくれる、キリギリスとコオロギの仲間を17種類紹介しています。広場には小道がつくられ、昆虫観察がしやすくなっています。解説板を手掛かりに、鳴く虫たちをぜひ探してみてください。



板に解説の紙を貼りつけ、
麻ひもを通したら準備完了



関心を持ってもらえるよう
順番を考えながら設置中

■ ミーティングの記録

次の活動について

- ・ミーティングは昼食前に実施。
- ・午後の自由活動を再開。

定例外もりかつの報告

○活動報告

活動日：8月2日、8月16日

活動内容：草刈り（小面積皆伐試験地や棚田跡等）

○次回の予定

活動日：別途案内

活動内容：草刈り（前回の続き）

鳥の巣箱づくり

フクロウの巣箱を作製中。寸法に合わせて板を切断したり、組み合わせたりする作業に予想よりも時間がかかり、壁面を立体に組み立てたところでタイムアップ。次の活動では屋根と底を取り付けて完成を目指します。小鳥の巣箱もつくる予定です。



3枚の板を組み合わせ
1枚の壁材に



ずれないように押さえながら
釘を打ち込みます

今日の生きもの ※同定中のもも含む

植物

花：マルバハギ、カワラナデシコ、クサギ、キキョウ、ワレモコウ
〈外来種〉タカサゴユリ、ハナハマセンブリ

実：ツチアケビ、クリ、ナツハゼ

つぼみ：オミナエシ

昆虫類

チョウセンカマキリ、ショウリョウバッタモドキ、エダナナフシ、ムラサキシジミ、モンキアゲハ、アゲハ、カラスアゲハ、ヒメジャノメ、キタキチョウ、キンモンガ、アゲハモドキ、タケカレハ、マツカレハ、シンジュキノカワガ、ウシアブ、オオスズメバチ、キロスズメバチ 〈声〉クマゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシ

鳥類

セグロセキレイ

は虫類

ニホンカナヘビ、ニホントカゲ



アゲハ



ヒメジャノメ



シンジュキノ
カワガ



アゲハモドキ

次の活動予定 9月21日(日)

9:30~11:30 森の手入れ

- ・鳥の巣箱づくり
- ・外来植物の抜き取り（エントランス、主園路）
- ・道の水切り（溝）づくり
- ・子ども虫隊

※軍手や長靴、虫取り網などは各自でご準備ください。

11:30~12:00 ミーティング

12:00~13:00 昼食 ※各自で準備

13:00~ 自由活動

やりたいことがあれば、お気軽にご相談ください。

- ・草木染めの材料あつめ
- ・種子あつめ